

<為替ヘッジあり・3ヵ月決算型>

第22期末 (2023年9月25日)	
基準価額	7,329円
純資産総額	71億円
第21期～第22期 (2023年3月28日～2023年9月25日)	
騰落率	△3.3%
分配金合計	50円

(注) 騰落率は分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

<為替ヘッジあり・資産成長型>

第11期末 (2023年9月25日)	
基準価額	7,761円
純資産総額	92億円
騰落率	△3.3%
分配金	0円

商品内容、運用状況などについてのお問い合わせ先

コールセンター **0120-762-506**

(9:00～17:00 土日祝日・年末年始を除く)

ホームページ <https://www.nam.co.jp/>

お客様の口座内容に関するご照会は、
お申し込みされた販売会社にお問い合わせください。



ニッセイアセットマネジメント株式会社

東京都千代田区丸の内1-6-6

ニッセイ・デンマーク・ カバード債券ファンド

(為替ヘッジあり・3ヵ月決算型)

(為替ヘッジあり・資産成長型)

【愛称】 デニッシュ・インカム

追加型投信／海外／債券 **特化型**

運用報告書 (全体版)

作成対象期間：2023年3月28日～2023年9月25日

<3ヵ月決算型>

第21期 (決算日 2023年6月26日)

第22期 (決算日 2023年9月25日)

<資産成長型>

第11期 (決算日 2023年9月25日)

受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて「ニッセイ・デンマーク・カバード債券ファンド(為替ヘッジあり・3ヵ月決算型)／(為替ヘッジあり・資産成長型)」は、2023年9月25日に決算を行いました。

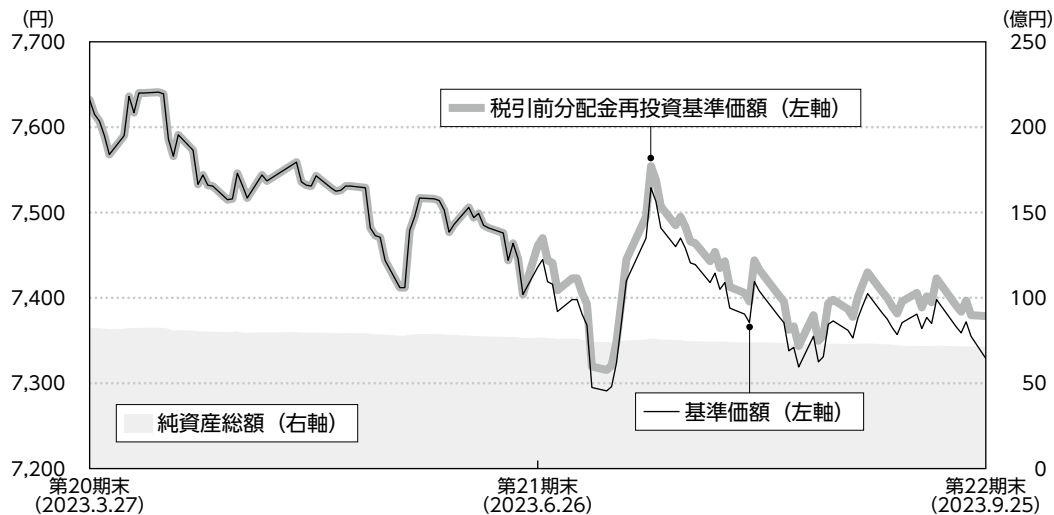
各ファンドは、「ニッセイ・デンマーク・カバード債マザーファンド」受益証券への投資を通じて、デンマーク・カバード債券を実質的な主要投資対象とし、安定したインカム収益の確保および信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行いました。ここに運用状況をご報告申し上げます。

今後ともいっそうのご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

運用経過

2023年3月28日～2023年9月25日

基準価額等の推移



第21期首	7,632円	既払分配金	50円
第22期末	7,329円	騰落率（分配金再投資ベース）	△3.3%

(注1) 税引前分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、前作成期末の基準価額にあわせて再指数化しています。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注3) 当ファンドはベンチマークを設けていません。

■ 基準価額の主な変動要因

<上昇要因>

- ・7月中旬に欧州債券市場が堅調な地合いで推移する中、デンマーク・カバード債券も堅調な値動きとなったこと
- ・相対的に高い為替ヘッジ後の利回りによるキャリー収益（債券を一定期間保有することで獲得できる利回り分等の収益）を確保したこと

<下落要因>

- ・当作成期初から7月初旬、また7月下旬以降に欧州金利が上昇（債券価格は下落）する中、幅広いクーポンの債券で価格が下落したこと

1万口当たりの費用明細

項目	第21期～第22期		項目の概要
	金額	比率	
信託報酬	34円	0.454%	$\text{信託報酬} = \text{期中の平均基準価額} \times \text{信託報酬率} \times \frac{\text{期中の日数}}{\text{年間の日数}}$ 期中の平均基準価額は7,457円です。
(投信会社)	(16)	(0.219)	ファンドの運用、法定書類等の作成、基準価額の算出等の対価
(販売会社)	(16)	(0.219)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価
(受託会社)	(1)	(0.016)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等の対価
その他費用	2	0.021	$\text{その他費用} = \text{期中のその他費用} / \text{期中の平均受益権口数}$
(保管費用)	(1)	(0.018)	海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(0)	(0.003)	公募投資信託は、外部の監査法人等によるファンドの会計監査が義務付けられているため、当該監査にかかる監査法人等に支払う費用
(その他)	(0)	(0.000)	<ul style="list-style-type: none"> ・信託事務の諸費用：信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用 ・借入金の利息：受託会社等から一時的に資金を借り入れた場合（立替金も含む）に発生する利息
合計	35	0.475	

(注1) 作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

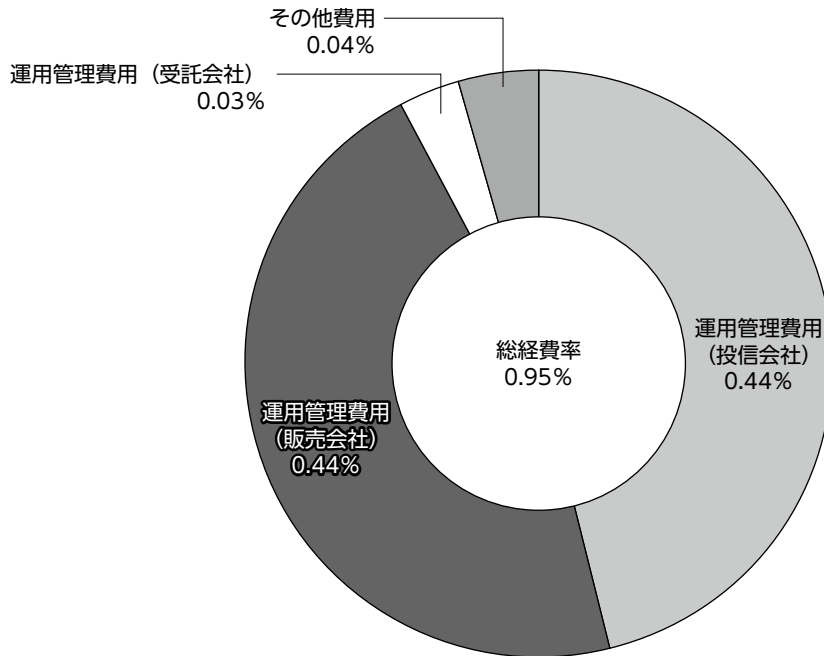
(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しています。

（参考情報）

■ 総経費率

作成期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は0.95%**です。



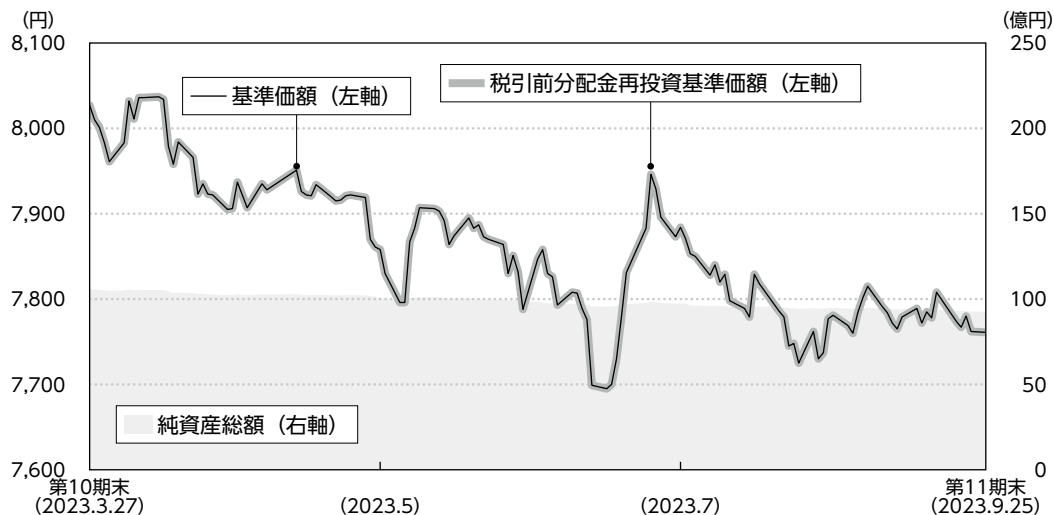
（注1）1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

（注2）各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

（注3）各比率は年率換算した値です。

（注4）上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

基準価額等の推移



第11期首	8,027円	既払分配金	0円
第11期末	7,761円	騰落率 (分配金再投資ベース)	△3.3%

(注1) 税引前分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、前期末の基準価額にあわせて再指数化しています。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注3) 当ファンドはベンチマークを設けていません。

■ 基準価額の主な変動要因

<上昇要因>

- ・ 7月中旬に欧州債券市場が堅調な地合いで推移する中、デンマーク・カバード債券も堅調な値動きとなったこと
- ・ 相対的に高い為替ヘッジ後の利回りによるキャリー収益（債券を一定期間保有することで獲得できる利回り分等の収益）を確保したこと

<下落要因>

- ・ 期初から7月初旬、また7月下旬以降に欧州金利が上昇（債券価格は下落）する中、幅広いクーポンの債券で価格が下落したこと

1万口当たりの費用明細

項目	第11期		項目の概要
	金額	比率	
信託報酬	36円	0.454%	$\text{信託報酬} = \text{期中の平均基準価額} \times \text{信託報酬率} \times \frac{\text{期中の日数}}{\text{年間の日数}}$ 期中の平均基準価額は7,857円です。
(投信会社)	(17)	(0.219)	ファンドの運用、法定書類等の作成、基準価額の算出等の対価
(販売会社)	(17)	(0.219)	購入後の情報提供、運用報告書等各种書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価
(受託会社)	(1)	(0.016)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等の対価
その他費用	2	0.021	$\text{その他費用} = \text{期中のその他費用} / \text{期中の平均受益権口数}$
(保管費用)	(1)	(0.018)	海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(0)	(0.003)	公募投資信託は、外部の監査法人等によるファンドの会計監査が義務付けられているため、当該監査にかかる監査法人等に支払う費用
(その他)	(0)	(0.000)	<ul style="list-style-type: none"> ・信託事務の諸費用：信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用 ・借入金の利息：受託会社等から一時的に資金を借り入れた場合（立替金も含む）に発生する利息
合計	37	0.475	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

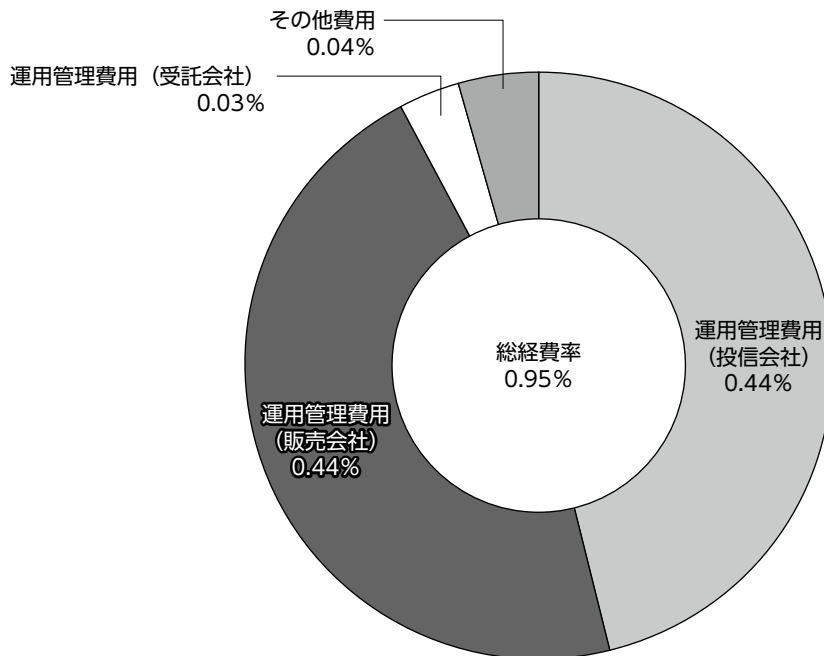
(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しています。

（参考情報）

■ 総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は0.95%**です。



（注1）1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

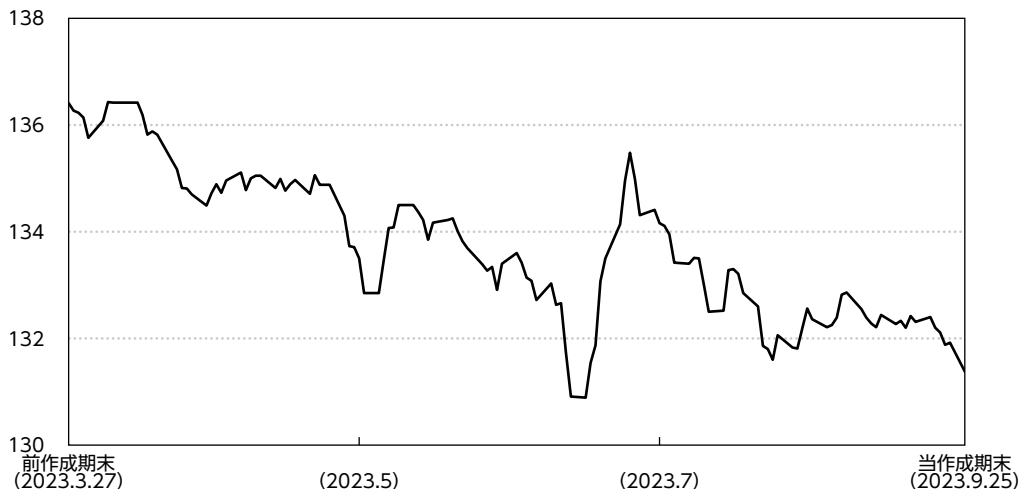
（注2）各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

（注3）各比率は年率換算した値です。

（注4）上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

デンマーク・カバード債券市況

【ニクレジット トータル インデックス (円ヘッジ) の推移】



(注) ブルームバークのデータをもとにニッセイアセットマネジメントが作成しています。

当作成期初から6月末にかけては、金融機関の信用状況に対する懸念や強弱入り交じる経済指標を背景に、金利は上下しながらもインフレ率の高止まりや欧州中央銀行（ECB）が5月・6月の会合においてそれぞれ0.25%ずつ利上げしたことを受けて上昇（債券価格は下落）基調で推移しました。7月初旬は米経済指標の上振れを背景に世界的に金融引き締め長期化観測が広がったことから金利は大幅に上昇しましたが、7月後半は米国やイギリスの消費者物価指数（CPI）が市場予想を下回ったことなどから低下に転じました。ECBが0.25%の追加利上げを実施しましたが、金融引き締めに積極的な姿勢を強めなかったことも債券市場のサポート材料となりました。8月に入り米国において国債発行増額による債券供給圧力が意識されたことや、9月にはECBがさらに0.25%の追加利上げを決定する中、米国においても政策金利が市場予想より高止まりする見通しを米連邦準備制度理事会（FRB）が示したことが金融引き締めに積極的な姿勢であると捉えられ、米国債に追随して金利は再び上昇する展開となりました。

デンマーク・カバード債券については、当作成期初から7月初旬にかけて金利が上下しながらも上昇基調となる中で欧州債券市場は軟調に推移し、デンマーク・カバード債券も軟調な値動きとなりました。7月中旬に欧州債券市場が堅調に推移した場面では債券市場のボラティリティ（価格変動性）上昇が一服したことも相まってデンマーク・カバード債券価格も上昇しましたが、7月下旬以降は欧州金利の上昇を受けて再び下落しました。

ポートフォリオ

■各ファンド

マザーファンド受益証券の組入比率を高位に保った運用を行いました（ただし、各ファンドから信託報酬等の費用を控除する関係などから、各ファンドの収益率はマザーファンドとは必ずしも一致しません）。

■マザーファンド

主にデンマーク・カバード債券を投資対象とし、安定したインカム収益の確保および信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行いました。

なお、組入外貨建資産については原則として対円での為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図りました。当作成期末の格付別構成比はA A A格（100.0%）であり、平均格付はA A A格を継続しました。

発行体別構成比は当作成期末時点でニクレディット・リアルクレディット（29.7%）、ノルディア・クレディット（29.6%）、ユスケ・リアルクレディット（29.4%）、リアルクレディット・デンマーク（11.2%）としています。

（注1）比率は対組入債券評価額比です。

（注2）格付はムーディーズ社、S & P社のうち、上位の格付を採用しています。

平均格付とは、マザーファンドが組み入れている債券にかかる格付を加重平均したものであり、各ファンドにかかる格付ではありません。

ベンチマークとの差異

■為替ヘッジあり・3ヵ月決算型

当ファンドは、マザーファンド受益証券への投資を通じて、デンマーク・カバード債券を実質的な主要投資対象とし、安定したインカム収益の確保および信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行うことから、ベンチマークなどを設けていません。

■為替ヘッジあり・資産成長型

当ファンドは、マザーファンド受益証券への投資を通じて、デンマーク・カバード債券を実質的な主要投資対象とし、安定したインカム収益の確保および信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行うことから、ベンチマークなどを設けていません。

分配金

■為替ヘッジあり・3ヵ月決算型

当作成期の分配金は、基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を考慮の上、下表の通りとさせていただきます。

なお、分配に充てずに信託財産に留保した収益につきましては、元本部分と同一の運用を行います。

【分配原資の内訳（1万口当たり）】

項目	第21期	第22期
	2023年3月28日～2023年6月26日	2023年6月27日～2023年9月25日
当期分配金（税引前）	25円	25円
対基準価額比率	0.34%	0.34%
当期の収益	25円	25円
当期の収益以外	－	－
翌期繰越分配対象額	389円	410円

■為替ヘッジあり・資産成長型

当期の分配金は、基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案した結果、見送らせていただきました。

なお、分配に充てずに信託財産に留保した収益につきましては、元本部分と同一の運用を行います。

【分配原資の内訳（1万口当たり）】

項目	当期
	2023年3月28日～2023年9月25日
当期分配金（税引前）	－
対基準価額比率	－
当期の収益	－
当期の収益以外	－
翌期繰越分配対象額	742円

(注1) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切り捨てで算出しているため、合計が当期分配金と一致しない場合があります。

(注2) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

今後の運用方針

■各ファンド

マザーファンド受益証券への投資を通じて、デンマーク・カバード債券を実質的な主要投資対象とし、安定したインカム収益の確保および信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行います。

■マザーファンド

欧州債券市場については安値圏でもみあいつつも、徐々に底堅く推移していく展開を予想しています。米国を中心に想定よりも景気が底堅く推移していることから、高い政策金利が当面維持されるとの思惑もあり、金利低下しづらい状況が続く可能性はありますが、ECBは現在の政策金利がインフレ率を目標に回帰させるのに十分な水準に到達したとの認識を示しており、追加利上げの可能性は低下したとみています。また、欧州域内の景況感は悪化傾向が続いており、景気後退リスクも意識されることから、欧州金利の上昇余地は限定的であると予想します。世界的な金利動向に左右されながらも欧州債券市場は次第に安定的な値動きに収束すると見込みます。

デンマーク・カバード債券については、再び金利が上昇する局面では軟調な値動きとなる可能性はありますが、金融政策引き締めが徐々に見えつつある中においては、相対的に高い信用力と良好な利回りを背景に次第に落ち着きを取り戻し、需要は高まるとみています。また、債券の発行量が抑制されていることに加え、低クーポン債を中心に住宅ローン借入人による買い戻しがみられていることもパフォーマンスのサポート要因になると考えています。

デンマーク・カバード債券の価格動向は、期限前償還リスクや国債利回りの動きに左右されやすいことから、状況を注視し適切にクーポン構成等を見直します。相対的に高い利回りから得られるインカム収益の確保と安定的なパフォーマンスの達成をめざし信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行います。

また、発行体の信用力に差がある一方で、同一条件のカバード債券の利回りはほぼ同じという市場特性を鑑み、発行体別構成比については発行体銀行や親銀行の信用力等を勘案し、適切なポートフォリオ構成を検討していく方針です。

なお、組入外貨建資産については原則として対円での為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図ります。

ファンドデータ

ニッセイ・デンマーク・カバード債券ファンド（為替ヘッジあり・3ヵ月決算型）の組入資産の内容

■ 組入ファンド

	第22期末 2023年9月25日
ニッセイ・デンマーク・カバード債マザーファンド	100.0%

(注1) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

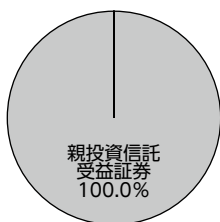
(注2) 組入全ファンドを記載しています。

■ 純資産等

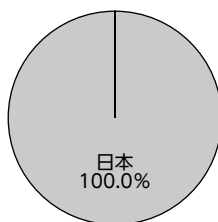
項目	第21期末 2023年6月26日	第22期末 2023年9月25日
純資産総額	7,666,497,971円	7,124,929,114円
受益権総口数	10,310,322,440口	9,721,564,196口
1万口当たり基準価額	7,436円	7,329円

(注) 当作成期間（第21期～第22期）中における追加設定元本額は21,126,225円、同解約元本額は1,110,368,405円です。

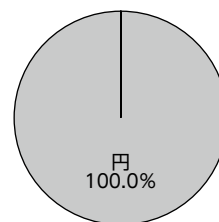
■ 資産別配分



■ 国別配分



■ 通貨別配分



(注) 資産別・国別・通貨別配分は、2023年9月25日現在のものであり、比率は純資産総額に対する評価額の割合です。なお、国別配分はニッセイアセットマネジメントの分類によるものです。

ニッセイ・デンマーク・カバード債券ファンド（為替ヘッジあり・資産成長型）の組入資産の内容

■ 組入ファンド

	第11期末 2023年9月25日
ニッセイ・デンマーク・カバード債マザーファンド	100.0%

(注1) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

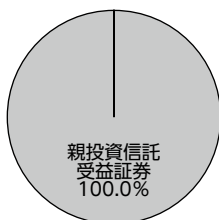
(注2) 組入全ファンドを記載しています。

■ 純資産等

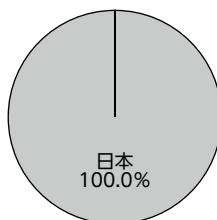
項目	第11期末 2023年9月25日
純資産総額	9,255,369,989円
受益権総口数	11,925,291,689口
1万口当たり基準価額	7,761円

(注) 当期間中における追加設定元本額は98,648,996円、同解約元本額は1,358,222,811円です。

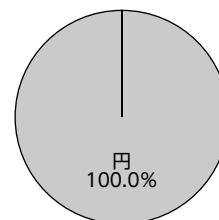
■ 資産別配分



■ 国別配分



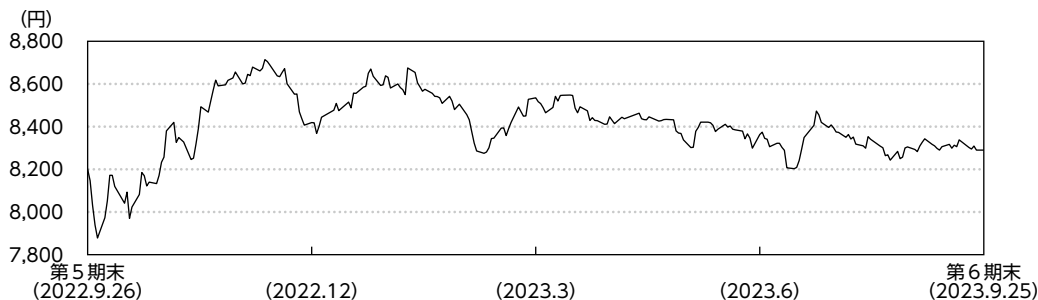
■ 通貨別配分



(注) 資産別・国別・通貨別配分は、2023年9月25日現在のものであり、比率は純資産総額に対する評価額の割合です。なお、国別配分はニッセイアセットマネジメントの分類によるものです。

ニッセイ・デンマーク・カバード債マザーファンドの概要

■ 基準価額の推移



■ 上位銘柄

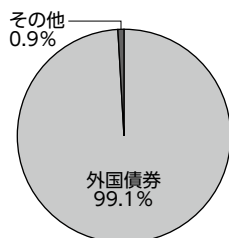
銘柄名	通貨	比率
NYKREDIT REALKREDIT AS 5.0% 2053/10/1	デンマーク・クローネ	19.5%
NORDEA KREDIT REALKREDIT 2.5% 2053/10/1	デンマーク・クローネ	17.5
JYSKE REALKREDIT A/S 2.5% 2053/10/1	デンマーク・クローネ	10.0
REALKREDIT DANMARK 2.0% 2050/10/1	デンマーク・クローネ	9.1
JYSKE REALKREDIT A/S 4.0% 2053/10/1	デンマーク・クローネ	8.9
JYSKE REALKREDIT A/S 2.0% 2050/10/1	デンマーク・クローネ	7.1
NORDEA KREDIT REALKREDIT 4.0% 2053/10/1	デンマーク・クローネ	6.0
NYKREDIT REALKREDIT AS 3.5% 2053/10/1	デンマーク・クローネ	4.8
NYKREDIT REALKREDIT AS 4.0% 2053/10/1	デンマーク・クローネ	4.1
NORDEA KREDIT REALKREDIT 2.0% 2050/10/1	デンマーク・クローネ	2.8
組入銘柄数		17

■ 1万口当たりの費用明細

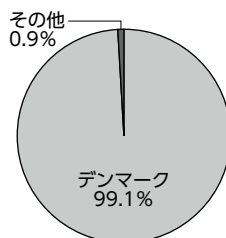
2022.9.27~2023.9.25

項目	金額
その他費用 (保管費用)	4円 (4)
(その他)	(0)
合計	4

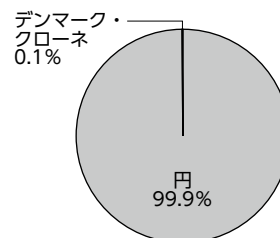
■ 資産別配分



■ 国別配分



■ 通貨別配分



(注1) 基準価額の推移および1万口当たりの費用明細は、マザーファンドの直近の決算期のものであり、費用項目の金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。項目の詳細につきましては、前掲の費用項目の概要をご参照ください。

(注2) 上位銘柄、資産別・国別・通貨別配分は、マザーファンド決算日(2023年9月25日現在)のものであり、比率はマザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。なお、国別配分はニッセイアセットマネジメントの分類によるものです。

(注3) 通貨別配分につきましては、為替ヘッジを加味した組入比率を記載しています。

(注4) 全銘柄に関する詳細な情報につきましては、運用報告書(全体版)の組入有価証券明細表をご参照ください。

最近10期の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	税引前 分配金	期中 騰落率	(ご参考)	債券 組入比率	純資産 総額
				基準価額+ 累計分配金		
	円	円	%	円	%	百万円
13期 (2021年 6 月25日)	9,834	25	△ 1.7	10,134	97.4	19,305
14期 (2021年 9 月27日)	9,621	25	△ 1.9	9,946	97.7	17,205
15期 (2021年12月27日)	9,700	25	1.1	10,050	94.4	13,643
16期 (2022年 3 月25日)	8,975	25	△ 7.2	9,350	99.2	12,067
17期 (2022年 6 月27日)	8,028	25	△10.3	8,428	98.0	9,485
18期 (2022年 9 月26日)	7,414	25	△ 7.3	7,839	97.9	8,569
19期 (2022年12月26日)	7,570	25	2.4	8,020	89.9	8,509
20期 (2023年 3 月27日)	7,632	25	1.1	8,107	97.7	8,250
21期 (2023年 6 月26日)	7,436	25	△ 2.2	7,936	103.9	7,666
22期 (2023年 9 月25日)	7,329	25	△ 1.1	7,854	99.1	7,124

(注1) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

(注2) 「基準価額+累計分配金」は、当該決算期の基準価額（分配落）に当該決算期以前の税引前分配金の累計額を加えたものです。

(注3) 当ファンドはマザーファンドを組み入れるため、「債券組入比率」は実質比率を記載しています。以下同じです。

(注4) 作成期とは運用報告書を作成する期間をいい、上表の網掛け部分が当作成期です。以下同じです。

当作成期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	騰落率	債券 組入比率
(期首)	円	%	%
2023年 3 月27日	7,632	—	97.7
3 月末	7,568	△0.8	98.9
4 月末	7,517	△1.5	100.8
5 月末	7,479	△2.0	98.7
(期末)			
2023年 6 月26日	7,461	△2.2	103.9
(期首)			
2023年 6 月26日	7,436	—	103.9
6 月末	7,384	△0.7	102.7
7 月末	7,418	△0.2	97.6
8 月末	7,391	△0.6	100.3
(期末)			
2023年 9 月25日	7,354	△1.1	99.1

(注) 期末基準価額は分配金（税引前）込み、騰落率は期首比です。

親投資信託受益証券の設定、解約状況

2023年3月28日～2023年9月25日

	第21期～第22期			
	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
	千口	千円	千口	千円
ニッセイ・デンマーク・カバード債マザーファンド	18,913	15,899	1,090,934	912,535

(注) 単位未満は切り捨てています。

利害関係人との取引状況等

2023年3月28日～2023年9月25日

当作成期における利害関係人との取引はありません。

親投資信託残高

2023年9月25日現在

種類	第20期末	第22期末	
	口数	口数	評価額
	千口	千口	千円
ニッセイ・デンマーク・カバード債マザーファンド	9,667,270	8,595,248	7,125,461

(注1) 単位未満は切り捨てています。

(注2) 当作成期末におけるニッセイ・デンマーク・カバード債マザーファンド全体の口数は21,868,517千口です。

投資信託財産の構成

2023年9月25日現在

項目	第22期末	
	評価額	比率
	千円	%
ニッセイ・デンマーク・カバード債マザーファンド	7,125,461	99.4
コール・ローン等、その他	42,862	0.6
投資信託財産総額	7,168,323	100.0

(注1) 外貨建資産は、当作成期末の時価を国内の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお9月25日における邦貨換算レートは、1デンマーク・クローネ21.22円です。

(注2) ニッセイ・デンマーク・カバード債マザーファンドにおいて、当作成期末における外貨建純資産（18,223,448千円）の投資信託財産総額（18,972,328千円）に対する比率は96.1%です。

(注3) 評価額の単位未満は切り捨てています。

資産、負債、元本および基準価額の状況

(2023年6月26日) (2023年9月25日)現在

項目	第21期末	第22期末
(A) 資産	7,724,313,430円	7,168,323,607円
コール・ローン等	17,060,119	15,818,930
ニッセイ・デンマーク・カバード債券マザーファンド(評価額)	7,667,028,326	7,125,461,401
未収入金	40,224,985	27,043,276
(B) 負債	57,815,459	43,394,493
未払収益分配金	25,775,806	24,303,910
未払解約金	13,821,999	2,191,552
未払信託報酬	18,073,263	16,762,535
その他未払費用	144,391	136,496
(C) 純資産総額(A - B)	7,666,497,971	7,124,929,114
元本	10,310,322,440	9,721,564,196
次期繰越損益金	△ 2,643,824,469	△ 2,596,635,082
(D) 受益権総口数	10,310,322,440口	9,721,564,196口
1万口当たり基準価額(C/D)	7,436円	7,329円

(注1) 当作成期首元本額 10,810,806,376円
 当作成期中追加設定元本額 21,126,225円
 当作成期中一部解約元本額 1,110,368,405円

(注2) 元本の欠損
 当作成期末の純資産総額は元本額を下回っており、その差額は2,596,635,082円です。

損益の状況

(第21期 2023年3月28日～2023年6月26日)
 (第22期 2023年6月27日～2023年9月25日)

項目	第21期	第22期
(A) 配当等収益	△ 1,341円	△ 1,331円
受取利息	16	82
支払利息	△ 1,357	△ 1,413
(B) 有価証券売買損益	△ 157,905,734	△ 62,562,394
売買益	4,994,476	3,221,266
売買損	△ 162,900,210	△ 65,783,660
(C) 信託報酬等	△ 18,217,662	△ 16,899,047
(D) 当期損益金(A + B + C)	△ 176,124,737	△ 79,462,772
(E) 前期繰越損益金	△ 2,683,315,051	△ 2,717,514,908
(分配準備積立金)	(53,249,528)	(70,800,125)
(繰越欠損金)	(△ 2,736,564,579)	(△ 2,788,315,033)
(F) 追加信託差損益金*	241,391,125	224,646,508
(配当等相当額)	(326,630,055)	(308,064,562)
(売買損益相当額)	(△ 85,238,930)	(△ 83,418,054)
(G) 合計(D + E + F)	△ 2,618,048,663	△ 2,572,331,172
(H) 収益分配金	△ 25,775,806	△ 24,303,910
次期繰越損益金(G + H)	△ 2,643,824,469	△ 2,596,635,082
追加信託差損益金	241,391,125	224,646,508
(配当等相当額)	(326,640,048)	(308,077,372)
(売買損益相当額)	(△ 85,248,923)	(△ 83,430,864)
分配準備積立金	75,169,281	90,744,020
繰越欠損金	△ 2,960,384,875	△ 2,912,025,610

(注1) (B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによる損益を含みます。

(注2) (C)信託報酬等は、信託報酬に対する消費税等相当額を含みます。

(注3) (E)前期繰越損益金とは、分配準備積立金と繰越欠損金の合計で、前期末の金額に、期中一部解約により変動した金額を調整して算出しています。

(注4) (F)追加信託差損益金*とは、追加設定をした価額と元本との差額をいい、配当等相当額と売買損益相当額に区分します。前期末の金額に、期中追加設定および一部解約により変動した金額を調整して算出しています。

分配金の計算過程

項目	第21期	第22期
(a) 経費控除後の配当等収益	47,695,559円	44,247,805円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0円	0円
(c) 信託約款に定める収益調整金	326,640,048円	308,077,372円
(d) 信託約款に定める分配準備積立金	53,249,528円	70,800,125円
(e) 分配対象額(a + b + c + d)	427,585,135円	423,125,302円
(f) 分配対象額(1万口当たり)	414.72円	435.24円
(g) 分配金	25,775,806円	24,303,910円
(h) 分配金(1万口当たり)	25円	25円

<課税上の取り扱いについて>

- ・分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により、「普通分配金」と「元本払戻金（特別分配金）」に分かれます。分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、全額が普通分配金となり、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合は、下回る部分が元本払戻金（特別分配金）、残りの部分が普通分配金となります。
- ・受益者は普通分配金に対し課税されます。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合、個別元本から元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の新しい個別元本となります。

最近5期の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	税引前 分配金	期中 騰落率	(ご参考)	債券 組入比率	純資産 総額
				基準価額+ 累計分配金		
	円	円	%	円	%	百万円
7期(2021年9月27日)	9,935	0	△ 3.6	9,935	97.7	24,996
8期(2022年3月25日)	9,317	0	△ 6.2	9,317	99.2	15,528
9期(2022年9月26日)	7,748	0	△16.8	7,748	97.9	11,011
10期(2023年3月27日)	8,027	0	3.6	8,027	97.7	10,583
11期(2023年9月25日)	7,761	0	△ 3.3	7,761	99.1	9,255

(注1) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

(注2) 「基準価額+累計分配金」は、当該決算期の基準価額（分配落）に当該決算期以前の税引前分配金の累計額を加えたものです。

(注3) 当ファンドはマザーファンドを組み入れるため、「債券組入比率」は実質比率を記載しています。以下同じです。

当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	騰落率	債券
			組入比率
	円	%	%
(期首)2023年3月27日	8,027	—	97.7
3月末	7,961	△0.8	98.9
4月末	7,907	△1.5	100.8
5月末	7,867	△2.0	98.7
6月末	7,793	△2.9	102.7
7月末	7,828	△2.5	97.6
8月末	7,801	△2.8	100.3
(期末)2023年9月25日	7,761	△3.3	99.1

(注) 期末基準価額は分配金（税引前）込み、騰落率は期首比です。

親投資信託受益証券の設定、解約状況

2023年3月28日～2023年9月25日

	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
	千口	千円	千口	千円
ニッセイ・デンマーク・カバード債マザーファンド	92,602	77,710	1,328,572	1,112,557

(注) 単位未満は切り捨てています。

利害関係人との取引状況等

2023年3月28日～2023年9月25日

当期における利害関係人との取引はありません。

親投資信託残高

2023年9月25日現在

種類	期首（前期末）	当期末	
	口数	口数	評価額
	千口	千口	千円
ニッセイ・デンマーク・カバード債マザーファンド	12,401,312	11,165,342	9,256,069

(注1) 単位未満は切り捨てています。

(注2) 当期末におけるニッセイ・デンマーク・カバード債マザーファンド全体の口数は21,868,517千口です。

投資信託財産の構成

2023年9月25日現在

項目	当期末	
	評価額	比率
	千円	%
ニッセイ・デンマーク・カバード債マザーファンド	9,256,069	99.1
コール・ローン等、その他	82,091	0.9
投資信託財産総額	9,338,160	100.0

(注1) 外貨建資産は、当期末の時価を国内の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお9月25日における邦貨換算レートは、1デンマーク・クローネ21.22円です。

(注2) ニッセイ・デンマーク・カバード債マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産（18,223,448千円）の投資信託財産総額（18,972,328千円）に対する比率は96.1%です。

(注3) 評価額の単位未満は切り捨てています。

資産、負債、元本および基準価額の状況

(2023年9月25日現在)

項目	当期末
(A) 資産	9,338,160,939円
コール・ローン等	43,790,074
ニッセイ・デンマーク・カバード債券 マザーファンド(評価額)	9,256,069,041
未収入金	38,301,824
(B) 負債	82,790,950
未払解約金	37,600,176
未払信託報酬	44,850,141
その他未払費用	340,633
(C) 純資産総額(A-B)	9,255,369,989
元本	11,925,291,689
次期繰越損益金	△ 2,669,921,700
(D) 受益権総口数	11,925,291,689口
1万口当たり基準価額(C/D)	7,761円

(注1) 期首元本額 13,184,865,504円
期中追加設定元本額 98,648,996円
期中一部解約元本額 1,358,222,811円

(注2) 元本の欠損
純資産総額は元本額を下回っており、その差額は2,669,921,700円です。

損益の状況

当期 (2023年3月28日～2023年9月25日)

項目	当期
(A) 配当等収益	△ 7,307円
受取利息	557
支払利息	△ 7,864
(B) 有価証券売買損益	△ 270,663,265
売買益	19,667,934
売買損	△ 290,331,199
(C) 信託報酬等	△ 45,190,952
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 315,861,524
(E) 前期繰越損益金	△ 2,771,896,306
(分配準備積立金)	(370,999,841)
(繰越欠損金)	(△ 3,142,896,147)
(F) 追加信託差損益金*	417,836,130
(配当等相当額)	(400,524,947)
(売買損益相当額)	(17,311,183)
(G) 合計(D+E+F)	△ 2,669,921,700
次期繰越損益金(G)	△ 2,669,921,700
追加信託差損益金	417,836,130
(配当等相当額)	(400,657,029)
(売買損益相当額)	(17,179,101)
分配準備積立金	484,985,318
繰越欠損金	△ 3,572,743,148

(注1) (B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによる損益を含みます。

(注2) (C)信託報酬等は、信託報酬に対する消費税等相当額を含みます。

(注3) (E)前期繰越損益金とは、分配準備積立金と繰越欠損金の合計で、前期末の金額に、期中一部解約により変動した金額を調整して算出しています。

(注4) (F)追加信託差損益金*とは、追加設定をした価額と元本との差額をいい、配当等相当額と売買損益相当額に区分します。前期末の金額に、期中追加設定および一部解約により変動した金額を調整して算出しています。

分配金の計算過程

項目	当期
(a) 経費控除後の配当等収益	113,985,477円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0円
(c) 信託約款に定める収益調整金	400,657,029円
(d) 信託約款に定める分配準備積立金	370,999,841円
(e) 分配対象額(a+b+c+d)	885,642,347円
(f) 分配対象額(1万口当たり)	742.66円
(g) 分配金	0円
(h) 分配金(1万口当たり)	0円

各ファンドの概要

		為替ヘッジあり・3ヵ月決算型	為替ヘッジあり・資産成長型
商 品 分 類		追加型投信／海外／債券 特化型	
信 託 期 間		2018年4月16日～2028年9月25日	
運 用 方 針		<p>①ニッセイ・デンマーク・カバード債マザーファンド受益証券への投資を通じて、デンマーク・カバード債券を実質的な主要投資対象とし、安定したインカム収益の確保および信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行います。</p> <p>②実質組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図ります。</p>	
主要運用対象	ニッセイ・デンマーク・カバード債券ファンド	ニッセイ・デンマーク・カバード債マザーファンド受益証券	
	ニッセイ・デンマーク・カバード債マザーファンド	デンマーク・カバード債券等	
運用方法	ニッセイ・デンマーク・カバード債券ファンド	<p>以下の様な投資制限のもと運用を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・株式、新株引受権証券および新株予約権証券への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の30%以下とします。 ・外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。 	
	ニッセイ・デンマーク・カバード債マザーファンド	<p>以下の様な投資制限のもと運用を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・株式、新株引受権証券および新株予約権証券への投資割合は、信託財産の純資産総額の30%以下とします。 ・外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。 	
分 配 方 針		<p>毎決算時に、原則として経費控除後の配当等収益および売買益等の全額を対象として、基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案して決定します。ただし、委託会社の判断により、分配を行わないことがあります。</p>	<p>毎決算時に、原則として経費控除後の配当等収益および売買益等の全額を対象として、基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案して決定します。</p>

ニッセイ・デンマーク・カバード債 マザーファンド

運用報告書

第 6 期

(計算期間：2022年9月27日～2023年9月25日)

運用方針

- ①主にデンマーク・カバード債券を投資対象とし、安定したインカム収益の確保および信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行います。
- ②外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行い、対円での為替変動リスクの低減を図ることをめざします。

主要運用 対象

デンマーク・カバード債券等

運用方法

- 以下の様な投資制限のもと運用を行います。
- ・株式、新株引受権証券および新株予約権証券への投資割合は、信託財産の純資産総額の30%以下とします。
 - ・外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。



ニッセイアセットマネジメント株式会社

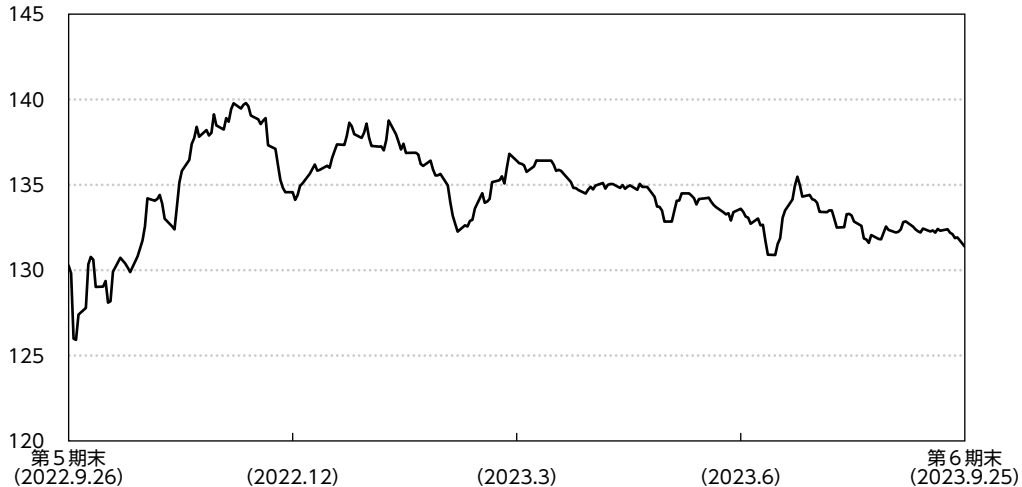
東京都千代田区丸の内1-6-6

運用経過

2022年9月27日～2023年9月25日

デンマーク・カバード債券市況

【ニクレディト トータル インデックス (円ヘッジ) の推移】

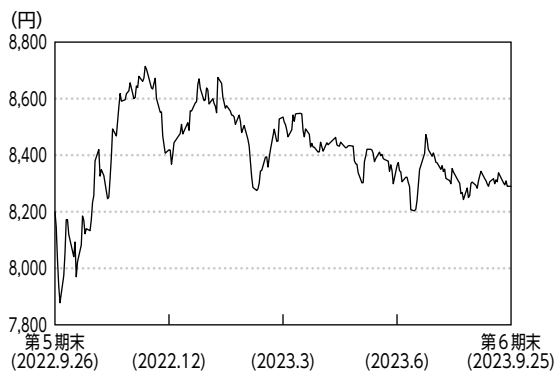


(注) ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメントが作成しています。

期初から2022年12月中旬にかけては、欧州中央銀行（ECB）が10月の会合で0.75%の利上げを決定したものの、イギリスの財政悪化懸念が和らいだことに加え、経済指標の下振れなどを受けて金融政策の引き締めスタンスの緩和が意識されたことから金利は低下（債券価格は上昇）しました。しかし、12月の会合で0.50%の追加利上げが決定され、今後も金融引き締めに積極的な姿勢であることが示されると、年末にかけて金利は上昇に転じました。2023年1月から3月にかけては、強弱入り交じる経済指標や米金融機関の破綻をきっかけに欧州においても金融機関への不安が波及したことを受けて金利は上下しました。その後、6月末にかけては金融機関の信用状況に対する懸念や強弱入り交じる経済指標を背景に、金利は上下しながらもインフレ率の高止まりやECBが5月・6月の会合においてそれぞれ0.25%ずつ追加利上げしたことなどを受けて上昇基調で推移しました。7月初旬は米経済指標の上振れを背景に世界的に金融引き締めの長期化観測が広がったことから金利は大幅に上昇しましたが、7月後半は米国やイギリスの消費者物価指数（CPI）が市場予想を下回ったことなどから低下に転じました。ECBが0.25%の追加利上げを実施しましたが、金融引き締めに積極的な姿勢を強めなかったことも債券市場のサポート材料となりました。8月に入り米国において国債発行増額による債券供給圧力が意識されたことや、9月にはECBがさらに0.25%の追加利上げを決定する中、米国においても政策金利が市場予想より高止まりする見通しを米連邦準備制度理事会（FRB）が示したことが金融引き締めに積極的な姿勢であると捉えられ、米国債に追随して金利は再び上昇する展開となりました。

デンマーク・カバード債券は、期初から2022年12月中旬にかけて欧州債券市場がおおむね堅調な地合いで推移する中、債券市場のボラティリティ（価格変動性）上昇が一服したことから価格が上昇しました。12月下旬から2023年3月にかけては欧州金利が大きく上下する中、デンマーク・カバード債券の価格も大きく上下しました。4月から7月初旬にかけて金利が上下しながらも上昇基調となる中で欧州債券市場は軟調に推移し、デンマーク・カバード債券も軟調な値動きとなりました。7月中旬に欧州債券市場が堅調に推移した場面では債券市場のボラティリティ上昇が一服したことも相まってデンマーク・カバード債券価格も上昇しましたが、7月下旬以降は欧州金利の上昇を受けて再び下落しました。

基準価額等の推移



(注) 当マザーファンドはベンチマークを設けていません。

■ 基準価額の主な変動要因

<上昇要因>

- ・ 期初から2022年12月中旬にかけて、また2023年1月および3月、7月中旬に欧州債券市場がおおむね堅調な地合いで推移する中、デンマーク・カバード債券も堅調な値動きとなったこと
- ・ 相対的に高い為替ヘッジ後の利回りによるキャリー収益（債券を一定期間保有することで獲得できる利回り分等の収益）を確保したこと

<下落要因>

- ・ 2022年12月下旬および2023年2月、また4月から7月初旬、7月下旬以降に欧州金利が上昇（債券価格は下落）する中、幅広いクーポンの債券で価格が下落したこと

ポートフォリオ

主にデンマーク・カバード債券を投資対象とし、安定したインカム収益の確保および信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行いました。

なお、組入外貨建資産については原則として対円での為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図りました。当期末の格付別構成比はA A A格（100.0%）であり、平均格付はA A A格を継続しました。

発行体別構成比は当期末時点でニクレディット・レアルクレディット（29.7%）、ノルディア・クレディット（29.6%）、ユスケ・レアルクレディット（29.4%）、レアルクレディット・デンマーク（11.2%）としています。

（注1）比率は対組入債券評価額比です。

（注2）格付はムーディーズ社、S & P社のうち、上位の格付を採用しています。

平均格付とは、当マザーファンドが組み入れている債券にかかる格付を加重平均したものであり、当マザーファンドにかかる格付ではありません。

ベンチマークとの差異

当マザーファンドは、主にデンマーク・カバード債券を投資対象とし、安定したインカム収益の確保および信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行うことから、ベンチマークなどを設けていません。

今後の運用方針

欧州債券市場については安値圏でもみあいつつも、徐々に底堅く推移していく展開を予想しています。米国を中心に想定よりも景気が底堅く推移していることから、高い政策金利が当面維持されるとの思惑もあり、金利低下しづらいつながり状況が続く可能性はありますが、ECBは現在の政策金利がインフレ率を目標に回帰させるのに十分な水準に到達したとの認識を示しており、追加利上げの可能性は低下したとみています。また、欧州域内の景況感は悪化傾向が続いており、景気後退リスクも意識されることから、欧州金利の上昇余地は限定的であると予想します。世界的な金利動向に左右されながらも欧州債券市場は次第に安定的な値動きに収束すると見込みます。

デンマーク・カバード債券については、再び金利が上昇する局面では軟調な値動きとなる可能性はありますが、金融政策引き締めへの出口が見えつつある中においては、相対的に高い信用力と良好な利回りを背景に次第に落ち着きを取り戻し、需要は高まるとみています。また、債券の発行量が抑制されていることに加え、低クーポン債を中心に住宅ローン借入人による買い戻しがみられていることもパフォーマンスのサポート要因になると考えています。

デンマーク・カバード債券の価格動向は、期限前償還リスクや国債利回りの動きに左右されやすいことから、状況を注視し適切にクーポン構成等を見直します。相対的に高い利回りから得られるインカム収益の確保と安定的なパフォーマンスの達成をめざし信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行います。

また、発行体の信用力に差がある一方で、同一条件のカバード債券の利回りはほぼ同じという市場特性を鑑み、発行体別構成比については発行体銀行や親銀行の信用力等を勘案し、適切なポートフォリオ構成を検討していく方針です。

なお、組入外貨建資産については原則として対円での為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図ります。

最近5期の運用実績

決算期	基準価額	期中騰落率	債券組入比率	純資産総額
	円	%	%	百万円
2期 (2019年9月25日)	10,794	5.0	97.8	60,833
3期 (2020年9月25日)	10,930	1.3	96.6	70,889
4期 (2021年9月27日)	10,419	△ 4.7	97.7	51,590
5期 (2022年9月26日)	8,200	△21.3	97.8	24,720
6期 (2023年9月25日)	8,290	1.1	99.1	18,128

当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	騰落率	債券組入比率
	円	%	%
(期首) 2022年 9月26日	8,200	—	97.8
9月末	7,878	△3.9	97.4
10月末	8,420	2.7	101.5
11月末	8,645	5.4	95.5
12月末	8,444	3.0	90.4
2023年 1月末	8,583	4.7	98.3
2月末	8,432	2.8	100.0
3月末	8,465	3.2	98.9
4月末	8,414	2.6	100.8
5月末	8,378	2.2	98.7
6月末	8,306	1.3	102.7
7月末	8,350	1.8	97.6
8月末	8,327	1.5	100.3
(期末) 2023年 9月25日	8,290	1.1	99.1

(注) 騰落率は期首比です。

1万口当たりの費用明細

2022年9月27日～2023年9月25日

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
その他費用	4円	0.042%	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
（保管費用）	(4)	(0.042)	海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
（その他）	(0)	(0.000)	・ 信託事務の諸費用：信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用 ・ 借入金の利息：受託会社等から一時的に資金を借り入れた場合（立替金も含む）に発生する利息
合計	4	0.042	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額（8,405円）で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しています。

売買および取引の状況

2022年9月27日～2023年9月25日

公社債

			買付額	売付額
外国	デンマーク	社債券	千デンマーク・クローネ 481,868	千デンマーク・クローネ 920,079 (19,664)

(注1) 金額は受渡代金です（経過利子分は含まれていません）。

(注2) () 内は償還による減少分で、上段の数字には含まれていません。

(注3) 金額の単位未満は切り捨てています。ただし、金額が単位未満の場合は、小数で記載しています。

主要な売買銘柄

2022年9月27日～2023年9月25日

公社債

買付		売付	
銘柄	金額	銘柄	金額
	千円		千円
NYKREDIT REALKREDIT AS	4,898,115	NYKREDIT REALKREDIT AS	2,618,390
NYKREDIT REALKREDIT AS	2,117,192	NORDEA KREDIT REALKREDIT	2,394,356
JYSKE REALKREDIT A/S	1,500,887	JYSKE REALKREDIT A/S	2,084,570
NORDEA KREDIT REALKREDIT	1,006,934	NYKREDIT REALKREDIT AS	1,947,999
—	—	NYKREDIT REALKREDIT AS	1,559,975
		NYKREDIT REALKREDIT AS	1,550,527
		NYKREDIT REALKREDIT AS	1,107,840
		NORDEA KREDIT REALKREDIT	1,031,513
		JYSKE REALKREDIT A/S	1,017,813
		NYKREDIT REALKREDIT AS	916,319

(注1) 金額は受渡代金（経過利子分は含まれていません）で、外国公社債は各月末（決算日の属する月については決算日）における国内の対顧客電信売買相場の仲値で換算した邦貨金額の合計です。

(注2) 金額の単位未満は切り捨てています。

組入有価証券明細表

2023年9月25日現在

外国（外貨建）公社債

区分	当期末							
	額面金額	評価額		組入比率	うちBB格 以下組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
	千デンマーク・クローネ	千デンマーク・クローネ	千円	%	%	%	%	%
デンマーク	973,859	846,477	17,962,256	99.1	—	99.1	—	—
合計	—	—	17,962,256	99.1	—	99.1	—	—

(注1) 外貨建金額は、原則として証券会社、価格情報会社等より入手した時価により評価したものです。また邦貨換算金額は、当期末の時価を国内の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。以下同じです。

(注2) 組入比率は、当期末の純資産総額に対する邦貨換算金額（評価額）の比率です。

(注3) 格付については証券会社、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(注4) 額面金額および評価額の単位未満は切り捨てています。ただし、額面金額および評価額が単位未満の場合は、小数で記載しています。以下同じです。

ニッセイ・デンマーク・カバード債マザーファンド

(外国公社債の内訳)

銘柄名	利率	償還年月日	額面金額	評価額	
				千円	千円
デンマーク	%		千デンマーク・クローネ	千デンマーク・クローネ	千円
社債券					
JYSKE REALKREDIT A/S	1.0000	2050/10/01	5,509	3,702	78,566
JYSKE REALKREDIT A/S	1.5000	2050/10/01	27,655	20,116	426,875
JYSKE REALKREDIT A/S	2.0000	2050/10/01	77,239	60,645	1,286,895
JYSKE REALKREDIT A/S	1.0000	2053/10/01	5,921	3,896	82,692
JYSKE REALKREDIT A/S	2.5000	2053/10/01	101,515	85,113	1,806,106
JYSKE REALKREDIT A/S	4.0000	2053/10/01	79,974	75,771	1,607,879
NORDEA KREDIT REALKREDIT	2.0000	2050/10/01	30,766	24,161	512,713
NORDEA KREDIT REALKREDIT	1.5000	2053/10/01	5,909	4,159	88,261
NORDEA KREDIT REALKREDIT	2.0000	2053/10/01	28,224	21,815	462,931
NORDEA KREDIT REALKREDIT	2.5000	2053/10/01	178,489	149,656	3,175,707
NORDEA KREDIT REALKREDIT	4.0000	2053/10/01	53,865	51,048	1,083,248
NYKREDIT REALKREDIT AS	3.0000	2053/10/01	9,574	8,380	177,839
NYKREDIT REALKREDIT AS	3.5000	2053/10/01	45,452	41,401	878,529
NYKREDIT REALKREDIT AS	4.0000	2053/10/01	36,733	34,796	738,390
NYKREDIT REALKREDIT AS	5.0000	2053/10/01	168,076	166,625	3,535,796
REALKREDIT DANMARK	2.0000	2050/10/01	99,503	78,155	1,658,466
REALKREDIT DANMARK	3.0000	2053/10/01	19,449	17,029	361,356
合計	-	-	-	-	17,962,256

投資信託財産の構成

2023年9月25日現在

項目	当期末	
	評価額	比率
公社債	千円 17,962,256	% 94.7
コール・ローン等、その他	1,010,071	5.3
投資信託財産総額	18,972,328	100.0

(注1) 外貨建資産は、当期末の時価を国内の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお9月25日における邦貨換算レートは、1デンマーク・クローネ21.22円です。

(注2) 外貨建純資産(18,223,448千円)の投資信託財産総額(18,972,328千円)に対する比率は96.1%です。

(注3) 評価額の単位未満は切り捨てています。

資産、負債、元本および基準価額の状況

(2023年9月25日現在)

項目	当期末
(A) 資産	37,983,224,527円
コール・ローン等	296,885,054
公社債(評価額)	17,962,256,412
未収入金	19,574,743,365
未収利息	135,394,552
前払費用	13,945,144
(B) 負債	19,854,443,116
未払金	19,750,783,895
未払解約金	103,658,878
その他未払費用	343
(C) 純資産総額(A-B)	18,128,781,411
元本	21,868,517,273
次期繰越損益金	△ 3,739,735,862
(D) 受益権総口数	21,868,517,273口
1万口当たり基準価額(C/D)	8,290円

(注1) 期首元本額	30,147,983,263円
期中追加設定元本額	408,518,536円
期中一部解約元本額	8,687,984,526円
(注2) 当マザーファンドの当期末元本額におけるベビーファンド別内訳は、次の通りです。	
ニッセイ・デンマーク・カバード債券ファンド (為替ヘッジあり・3ヵ月決算型)	8,595,248,976円
ニッセイ・デンマーク・カバード債券ファンド (為替ヘッジあり・資産成長型)	11,165,342,632円
ニッセイ・デンマーク・カバード債券ファンド2018-09 (為替ヘッジあり)	1,019,710,817円
ニッセイ・デンマーク・カバード債券ファンド2019-07 (為替ヘッジあり・限定追加型)	488,572,625円
ニッセイ・デンマーク・カバード債券ファンド2019-12 (為替ヘッジあり・限定追加型)	599,642,223円

(注3) 元本の欠損
純資産総額は元本額を下回っており、その差額は3,739,735,862円です。

損益の状況

当期 (2022年9月27日~2023年9月25日)

項目	当期
(A) 配当等収益	717,355,148円
受取利息	717,753,300
支払利息	△ 398,152
(B) 有価証券売買損益	△ 328,828,799
売買益	5,157,763,068
売買損	△5,486,591,867
(C) 信託報酬等	△ 9,368,804
(D) 当期損益金(A+B+C)	379,157,545
(E) 前期繰越損益金	△5,426,990,352
(F) 追加信託差損益金	△ 66,669,629
(G) 解約差損益金	1,374,766,574
(H) 合計(D+E+F+G)	△3,739,735,862
次期繰越損益金(H)	△3,739,735,862

(注1) (B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによる損益を含みます。
(注2) (F)追加信託差損益金とは、追加設定をした価額と元本との差額をいい、元本を上回る場合は利益として、下回る場合は損失として処理されます。
(注3) (G)解約差損益金とは、一部解約をした価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。